

平均気温と日照時間によるもも「あかつき」の収穫盛期予測

村尾昭二・丸尾勇治郎・福田哲生

香川県農業試験場研究報告 第55号(2002年3月) 33-36

平均気温等の気象データを用い、もも「あかつき」の収穫盛期の予測について検討を行った。

1.生育期間中の平均気温、最高気温及び日照時間は、成熟日数との相関が高く、モモの成熟の早晩に影響を及ぼすものと考えられた。これに対して降水量の多少は、ももの成熟に影響が少ないものと考えられた。

2.平均気温及び日照時間と成熟日数との重回帰分析の結果、満開後30日の時点で高い相関が認められた。満開後30日間の積算平均気温及び日照時間を用いた予測式は次のとおりである。

$$Y=-0.0661X1-0.0883X2+148.751(R=0.915)$$

(X1=満開後30日間の平均気温の積算値、X2:満開後30日間の日照時間の積算値、Y=成熟日数)

3.予測式の適合性を実測値と比較し、検定した結果、最大で3.2日、平均で1.5日の誤差を生じるが、満開後30日の早い時点で収穫盛期日の予測が可能であると考えられた。

キーワード：もも、あかつき、平均気温、日照時間、収穫盛期予測